

科目コード	N12108	科目名	社会と平和				
履修区分	選択	開講期	1年後期	授業回数	15回	単位数	2単位
担当者	堀内喜代美						
授業の概要	グローバル化が進む現代社会ではヒト・モノ・カネ・情報が国境を越えて移動します。そうした状況下において民主的で平和な社会を実現・維持していくためにはどのような認識や行動が必要か。グローバル化に関わる諸問題の学びを通して、持続可能な発展に向けて求められる社会の在り方や行動について考えていきます。						
DPとの関連	平和を希求する姿勢を身につける						
	豊かな教養を身につける						
	高い倫理観と責任感、他者との信頼関係を築き協働できる能力を身につける						
	看護専門職者としての役割を認識し、看護の実践に活用するための専門的知識を身につける						
	地域に生活している人々に対して深い関心と理解する姿勢を身につける						
	自らの学びを通じて人々と地域社会に積極的に関わり貢献しようとする意欲を身につける						
	多様な保健医療福祉の場での多職種との連携で、看護専門職として機能を発揮する能力を身につける						
	社会情勢や人々の健康に関する課題に沿った看護のニーズを意欲的に探究する姿勢を身につける						
	異なる文化や多様な考えを受け入れ、看護職者としての価値観を形成する能力を身につける						
到達目標	DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）=卒業までに身に付けるべき資質・能力						
	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化社会が抱える課題を俯瞰的・客観的に捉えることができる。 ・様々な社会問題に関して背景を理解し、自分の意見を提示できる。 						
履修上の注意事項	オンデマンド授業が中心となりますが、対面やZoomでの授業も数回実施します。指定した期日（1週間程度）までに動画が未視聴の場合は欠席扱いとなります。視聴状況はCラーニングのログで管理しており、毎回の授業課題を提出しても動画の視聴状況が悪い場合は単位修得は出来ませんので、それを理解した上で履修してください。						
授業計画	回数	講義内容【担当教員】				事前・事後学修	
	1	オリエンテーション				関連語彙の定義作成及びレポート課題（60分）	
	2	グローバル化とパンデミック コロナ禍における信頼と国際協調				関連語彙の定義作成及びレポート課題（60分）	
	3	グローバル化と留学生 日本における留学生政策				関連語彙の定義作成及びレポート課題（60分）	
	4	グローバル化と外国人労働者 看護・介護分野の外国人の受け入れ				関連語彙の定義作成及びレポート課題（60分）	
	5	異文化理解 日本人の異文化対応特性				関連語彙の定義作成及びレポート課題（60分）	
	6	異文化理解 異文化理解から多文化共生社会へ				関連語彙の定義作成及びレポート課題（60分）	
	7	大学と社会 国際比較から見る日本の大学				関連語彙の定義作成及びレポート課題（60分）	
	8	大学と社会 大学の公共性：大学は公共財か？				関連語彙の定義作成及びレポート課題（60分）	
	9	大学と社会 地域社会との共生				関連語彙の定義作成及びレポート課題（60分）	
	10	アメリカの人種問題 BLM運動から見る黒人差別問題				関連語彙の定義作成及びレポート課題（60分）	
	11	アメリカの人種問題 日系移民の歴史				関連語彙の定義作成及びレポート課題（60分）	
	12	アメリカの人種問題 アファーマティブ・アクション				関連語彙の定義作成及びレポート課題（60分）	
	13	多様性と社会の包摂 DE&Iの推進				関連語彙の定義作成及びレポート課題（60分）	
	14	多様性の限界 DE&Iの反動				関連語彙の定義作成及びレポート課題（60分）	
	15	総括				関連語彙の定義作成及びレポート課題（60分）	
成績評価方法	各授業回で課す授業課題（計60%）と期末試験（40%）で評価する。また、動画の視聴状況に応じて減点を行う。						
教科書	書名・著者（出版社）					ISBNコード	
	必要に応じてプリント配布						
参考書	移民と日本社会・永吉希久子（中公新書）					978-4121025807	
	アメリカの大学・ニッポンの大学・苅谷剛彦（中公新書ラクレ）					978-4121504296	
教員からのメッセージ	現代の日本や外国の社会において起こっている事件や現象についてのニュースを新聞等で読み、自分なりの考えを持つようにしてください。情報に対する感度を高めることは、多様性を受け入れる価値観を身につけることにも繋がります。						
教員との連絡方法	C-Learningの「連絡・相談」を利用して連絡を取ってください。						
実務経験のある教員							